**第１８回観察会　2004年９月22日(水) 　　　　　　　　　12:15～12:55　曇り時々雨**

**テーマ『秋のいきものを見つけよう』**

**☆ガイドレポート：昆虫編**

今月は久しぶりに昆虫をガイドしました。時折雨がぱらつく天気で、昆虫観察には不向きな日ではありましたが、無事に秋の虫を見ることができました。参加者が非常に多く来られて嬉しかった反面、小さな虫を見ていただくには、少し苦労しました。

はじめに、イネ科のアシボソに発生していたエゴノネコアシアブラムシを見てもらいました。これは、エゴノキとアシボソを往復して生活するアブラムシで、エゴノキではエゴノネコアシフシと呼ばれる虫こぶをつくります。わりと珍しいアブラムシです。それから、地面に落ちて腐ったチャンチンモドキの実の中から、ケシキスイの幼虫やショウジョウバエの幼虫などがみつかりました。

秋の虫といえば、コオロギ、マツムシなどの鳴く虫や、バッタ、カマキリ、赤トンボなどでしょう。草むらでは、コオロギの鳴き声が聞け、姿も見ることができました。樹上ではアオマツムシが鳴いていましたが、人が近づくと鳴き止んでしまい、皆さんに聞いていただくことができませんでした。夜、都会の街路樹上で賑やかに鳴いているのがアオマツムシなので、みなさん聞いたことがあるはずです。池の周辺では赤トンボの一種のマユタテアカネが何匹か見られました。

今日出会った昆虫：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　エゴノネコアシアブラムシ、ケシキスイ（幼虫）、ショウジョウバエ、オンブバッタ、コバネイナゴ、ハラヒシバッタ、ヒメヒシバッタ、ミツカドコオロギ、ツヅレサセコオロギ、マダラスズ、アオマツムシ（鳴き声）、ツユムシ、クサキリ、マユタテアカネ、キイトトンボ、モノサシトンボ、オオシオカラトンボ、ヤマトシジミ、ヒメウラナミジャノメ、ツマグロヒョウモン、クロアゲハ（？）、ヒカゲチョウ、イチモンジセセリ、ホシミスジ（？）、オオスズメバチ、ツマグロオオヨコバイ、ハネナガヒシバッタ、オオクロセダカカスミカメ

ガイド：大橋和典さん（京都大学農学研究科）

**☆ガイドレポート：植物編**

今回はメインが昆虫であまり広い範囲をまわりませんでしたが、植物の姿にも初秋を感じることができました。いくつか紹介しておきます。

結実中：チャンチンモドキ、ゲンペイシダレモモ、マルバチシャノキ、ロウヤガキ、ユクノキなど

開花中：シロバナマンジュシャゲ、ツルボ、キクイモ、シロネなど

ガイド：今村彰生さん（総合地球環境学研究所）

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 普段識別できない昆虫が見れてタメになりました。　　　　　　　（初めて参加したかた）
* エゴノネコアシアブラムシ、その生態がおもしろかった。草と木を往復するなんて小さい虫なのにおもしろいです。アブラムシの見方が変わりました。説明の声をもう少し大きくおねがいします。毎回発見があって楽しいです。樹木を覚えたいのですが、四季移り変わるのでむずかしいですね。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* とても楽しかったです。補虫網で虫をつかまえるのがあざやかでした。ショウジョウバエはいつもゴミからわいてきて困っているのですが、野外で見たのは初めてで、新鮮に感じました。昆虫の名前だけでなく、それにまつわるお話を色々聞けたのが面白かった。　　（農学部学部生のかた）
* きれいなトンボに感動した。　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球研のかた）
* 秋の虫(小動物)の状態がわかって良かった。　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 日頃足もとの自然の生態、いとなみ、生物のあゆみを学ぶと共に、自然界の今日にいたるまでの生命をありがとうございました。　　（所属不明のかた）
* 昆虫も楽しいです。子供の頃の昆虫採集を思い出して懐しく、講義を拝聴いたしました。昆虫も植物と同じような回数開いてください。（地球研　宮島敏明さん）
* 楽しく過ごさせていただきました。我家でもよく見かけている虫の名前がよくわからなかったのですが、今回少しわかったようでおもしろかったです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 今回は虫をみる観察会。自分でつかまえるのはとても久しぶりでちょっと新鮮でした。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球研のかた）
* 昆虫の事をもっと知りたいです。もっと勉強します。　　　　　　（近所のかた）
* 小さなトンボを初めて見ました。　　　　　　　　　　　　　　　（所属不明のかた）